

高岡市老連だより

2021 12月号**第31号**

令和3年12月1日発行

編集 高岡市老連文化教養委員会
発行 高岡市老人クラブ連合会

高岡市博労本町4番1号 TEL (23) 7900

Eメール sirouren@aroma.ocn.ne.jp

ホームページ <http://takaoka-rouren.jp>

石堤地区会長 横山 勲氏の
門松作りの様子です。

横山会長から、「心を込めた
門松をつくり、新年を祝わんけ」
とご提案をいただいています。
年末に、門松作りの講習会を開
催しますので、興味のある方は、
是非ご参加下さい。
詳細は、最終頁の案内をご覧下
さい。



総務委員会事業報告

委員長 吉田 攻

第十六回 高岡市老人クラブ大会

十月二十一日に開催予定の老人クラブ大会は、新型コロナの感染懸念から、昨年引き続き中止となりました。大会は開催出来ませんでしたが、長年にわたり地区会長・女性部長として、また単位クラブ会長、そして会員としてクラブの発展と地域福祉の向上に尽力された方々に、十一月一日開催の理事会の席上、小山市老連会長より、高岡市長感謝状、高岡市老連会長の表彰状と記念品が授与されました。また、県老連の老人クラブ大会も中止となったことから、県老連会長の表彰状と記念品も併せて授与されました。

受章された方々は、以下の通りです。心からお慶び申し上げますとともに、今後とも、老人クラブ活動の発展にご尽力いただきますよう、宜しくお願いいたします。

高岡市長感謝状

(地区老連会長・女性部長)

藤本 哲也 (定塚地区会長)

蒲田 和子 (野村地区女性部長)

寺林 信子 (古府地区女性部長)

大多 齊二 (横田地区会長)

金森 映子 (西条地区女性部長)

(単位老人クラブ会長)

澤江初太郎 (能町) 串田仁右エ門 (定塚)

井波 清三 (定塚) 林 孝男 (定塚)

伊東 俊行 (野村) 高 久夫 (野村)

向 満雄 (伏木) 尾間 茂 (古府)

藤本 進 (太田) 村井 修一 (博労)

土尾 章 (博労) 関原 隆 (博労)

藤平 勝久 (立野) 松田 栄 (東五位)

横本 宗紀 (福田) 杉山 正昭 (佐野)

大橋 正弘 (横田) 青木 良二 (西条)

佐野 良明 (西条) 釜谷 豊 (西条)

立野 透 (西条) 関 恒雄 (川原)

前田 義則 (大滝)

◆高岡市老連会長表彰

(地区老連会長)

立川美津夫 (野村地区会長)

坂口 勇 (戸出東部地区会長)

中川 裕行 (山王地区前会長)

(単位クラブ会長)

作道 弘康 (牧野) 酒井 榮治 (牧野)

宮西 豊 (牧野) 山田 恵宣 (能町)

山本 實 (能町) 松井 友昭 (能町)

上田 哲夫 (定塚) 上野 樹 (定塚)

室田 直二 (定塚) 高野 利彦 (定塚)

筏井 弘道 (野村) 竹脇 康一 (野村)

宇於寄俊雄 (野村) 田嶋 博 (野村)

橋詰 善蔵 (野村) 山口 實 (野村)

二口 静夫 (伏木) 樋爪 和夫 (伏木)

国谷 洋子 (伏木) 川辺 健二 (古府)

橋本 一夫 (古府) 堀田 清嗣 (戸出西)

川原 正範 (戸出西) 菊地 一秋 (戸出西)

山崎 弘 (戸出西) 田畑 好美 (二塚)

開發 光雄 (立野) 柴田 憲明 (立野)

竹内 芳明 (立野) 小幡 欣也 (東五位)

津田 敏雄 (福田) 北山 瑞豊 (横田)



塚本 与次 (横田)
吉田 攻 (西条) 津田 陽子 (西条)
参納 和雄 (大滝)

(優良会員)

結城 國夫 (牧野) 串田 律子 (牧野)
室谷 勝 (能町) 中尾 武雄 (能町)
福田 倫子 (野村) 尾畑 勝征 (野村)
菅原 実 (野村) 吉岡 欣一 (平米)
梶川早智子 (平米) 川口 末子 (伏木)
八坂 光子 (伏木) 吉澤 由昭 (伏木)
新 紘士郎 (古府) 飯澤 隆夫 (太田)
竹林 昭夫 (太田) 若林未知子 (戸出東)
金田 栄子 (戸出東) 開発 雅彦 (戸出西)
石黒 俊子 (戸出西) 正村 芳枝 (博労)
池田 順子 (博労) 青木千賀子 (西条)
山田 満 (西条) 和泉 清 (佐野)
今井 三郎 (佐野) 大田 良一 (福田)
中谷 朝恵 (木津) 上坂 秀子 (木津)
林 保次 (横田) 佐賀 儀明 (横田)
吉野 和代 (国吉) 大道 悦子 (山王)



◆ 県老連会長表彰

(個人の部)

立川美津夫 (野村地区会長)

跡地 孝吉 (下関地区前地区会長)

中川 裕行 (山王地区前地区会長)

(団体の部)

西園町無長寿会 (代表 小幡 欣也)

戸出六丁目瑞穂会 (代表 山崎 弘)

伏木赤坂善光会 (代表 池崎 勝哉)



小山会長（前列左から3人目）を囲む受賞者代表の方々です

単位クラブ会長研修会

単位クラブ会長研修会は、氷見の「うみあかり」での開催を予定していましたが、コロナの感染懸念から中止となりました。代わりに、数学者の藤原正彦氏のエッセイ「管見妄語」を各会長にお送りしました。藤原正彦氏は、作家の新田次郎と藤原ていの次男で、「国家の品格」や「日本人のほこり」等の著作で有名な方ですから、皆様も読まれた方も多いと思います。「管見妄語」はエッセイですが、ユーモア溢れる筆致の中に、一本筋の通った考え方で論旨を展開されており、考えるヒントになりますので、是非ご一読いただけたらと思います。



体育振興委員会事業報告

委員長 山田 孝雄

◆第十五回 ゲートボール大会

開催日 五月十四日(金)
場 所 福岡屋内多目的広場
参加者 (四チーム、二十一名)

コロナの影響で、参加チームは例年になく少なく多少寂しい大会となりましたが、各チームとも優勝目指して熱戦を展開しました。

また、大会に先立ち高齢者の表彰を行いました。おめでとうございます。これからも元気でプレーされますようお祈りいたします。

〈高齢者表彰〉

定田 靖子(下関)
村上久美子(福岡)

成績上位チームは以下の通りです。

優勝 祖父川チーム
準優勝 大滝チーム
三位 立野GBチーム



◆第十七回 グラウンドゴルフ大会

開催日 六月十一日(金)
場 所 高岡市営グラウンドゴルフ場
参加者 (男八十九名、女四十二名)

快晴の中、絶好のコンディションでの競技となりました。コロナの影響もあり、例年より参加者は多少減少しましたが、百三十名の方がプレーを楽しみました。成績上位



者は、以下のとおりです。

〈男性の部〉

優勝 山本清八郎
準優勝 藤森 慎一
三位 桜井 司朗

〈女性の部〉

優勝 笠間満由実
準優勝 茶谷ひろ子
三位 前原 敏枝

◆ペタンク大会

開催日 九月九日(木)

場所 高岡スポーツコア

参加者 (四十チーム、百二十名)

明け方までの雨で、グラウンドコンディションは良くない中スタートした競技でしたが、時間とともに天気が回復し、選手の皆さんは大いに健闘されました。成績上位者は以下のとおりです。

〈決勝トーナメント戦〉

優勝 黒田新町Bチーム

準優勝 横越下Bチーム

三位 戸出北Aチーム

敢闘賞 下佐野Bチーム

〈交流トーナメント戦〉

優勝 光明寺Bチーム

準優勝 戸出北Bチーム

三位 夏住Aチーム

三位 小勢チーム

◆第十四回パークゴルフ大会

開催日 九月十六日(木)

場所 高岡市スポーツ健康センター

参加者 (男七十九名、女十四名)

絶好のスポーツ日和のなか、参加者全員三十六ホールを回りました。コロナ禍でステージ3に移行中の開催となり、参加者の減少を心配していましたが、多くの皆様に参加していただきました。

今回から、本格的にハンディ制を導入す



る等、新しい試みでの大会となりましたが、如何がだったでしょうか。改善すべきところは改善し、参加者に一層楽しんでいただける大会を目指していきます。

成績上位者は以下のとおりです。

〈男性の部〉

優勝 伊東伊佐雄(東五位) 96

準優勝 濱木 哲男(福岡) 101

三位 春日 真一(立野) 102

〈女性の部〉

優勝 荒井 悦子(山王) 108

準優勝 鳴海久美子(中田) 112

三位 中川 恵子(山王) 113



紙上作品展

令和3年度の「趣味の作品展」は、コロナの関係で中止となりました。会員の皆様の芸術作品をその一部ではありますが、ご鑑賞いただきたく掲載しましたので、広く楽しんでいただきたいと思います。
(なお、掲載作品の選定は、過去の出展履歴を参考にして、写真撮影日時にお持ちいただける方の作品に限定して掲載させていただきました。)



「海の幸」

高桑 陸雄さん（牧野）



「内川から見た立山連峰」

久湊 和信さん (牧野)



「咲きそろったアンセリウム」

武田 莉子さん (戸出東)



「高野檜」

大指 勢津子さん (戸出東)



山元 美子さん (守山)



「タチアオイ」
城越 貞子さん（伏木）



「奥入瀬溪流」
吉田 秋夫さん（国吉）



「かたすみ」
能作 一雄さん（野村）



「押絵」
南 好美さん（佐野）



「窓辺の花」

西川 カツミさん (小勢)



「プラハの夜景」

小山 啓子さん (赤丸)



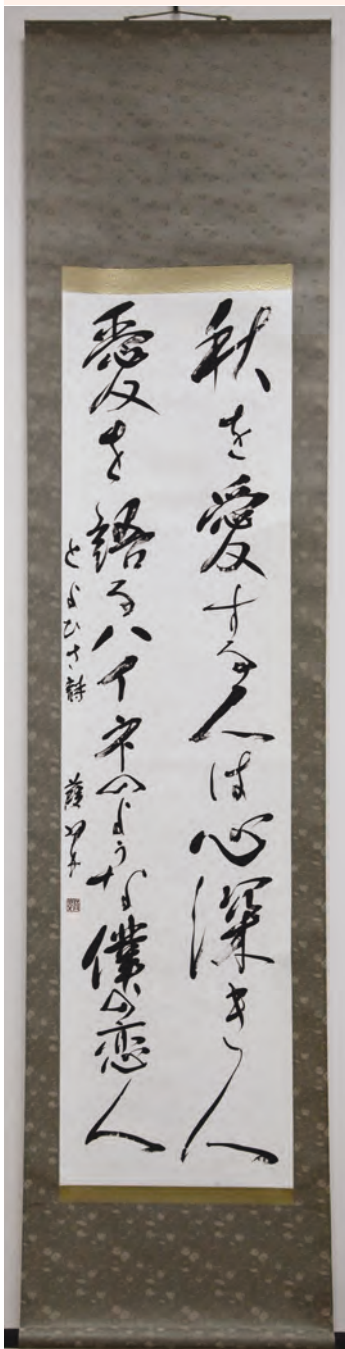
「はるの香り」

金丸 智恵子さん (博労)



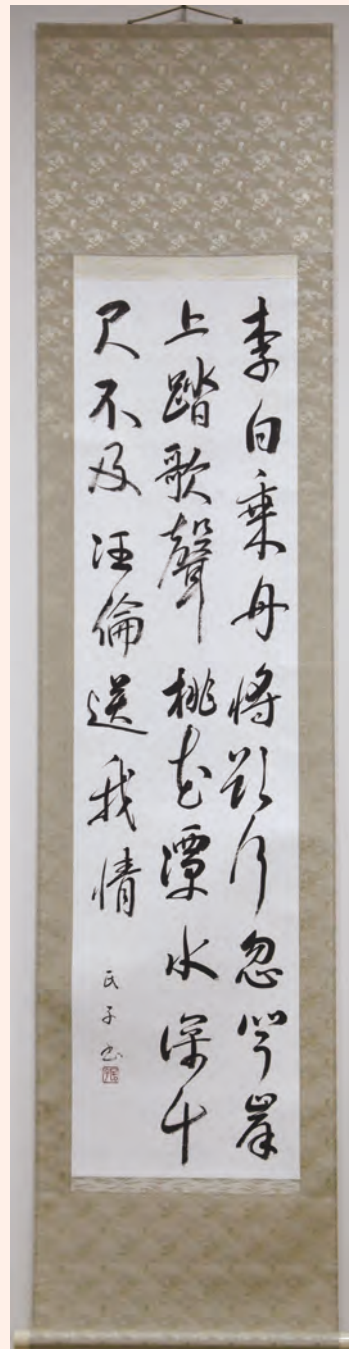
「白鷺城」

中川 武利さん (赤丸)



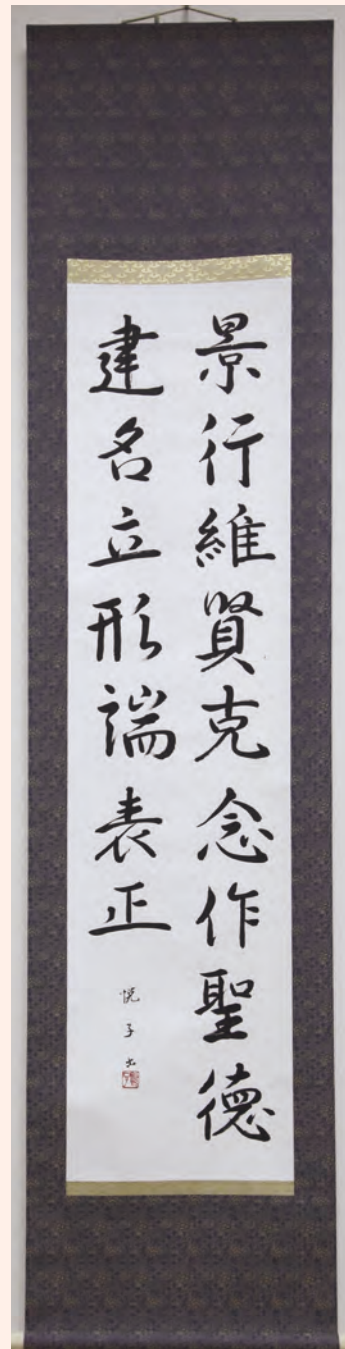
「四季の歌」

小川 美貴子さん
(戸出西)

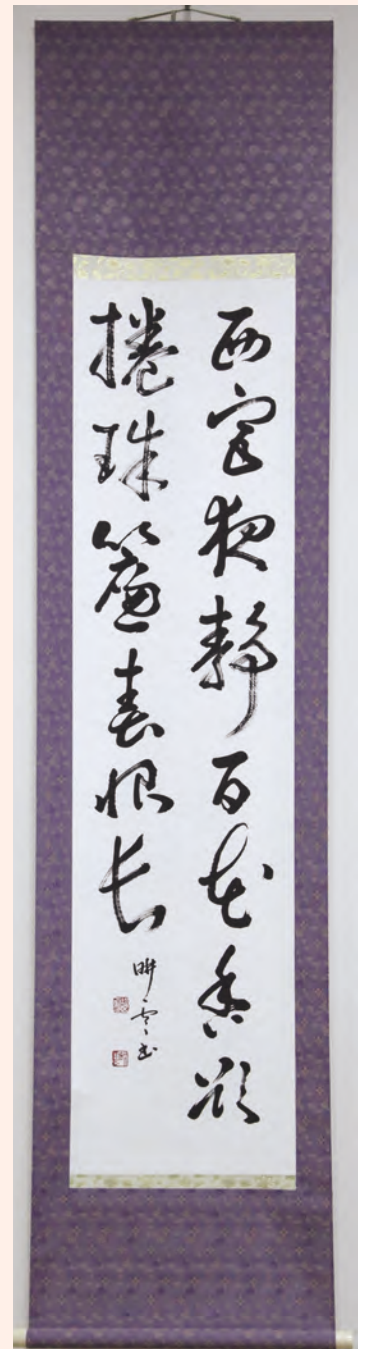


「李白」

岸 民子さん
(伏木)

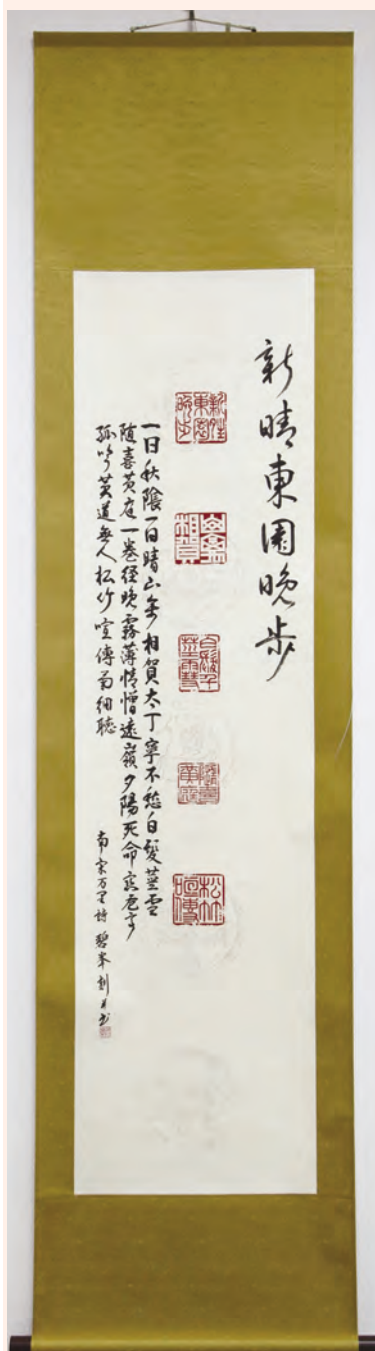


向 悦子さん
(伏木)



「西宮春怨」

堀田 正治さん
(牧野)



「漢詩」

宇於寄 俊雄さん (野村)

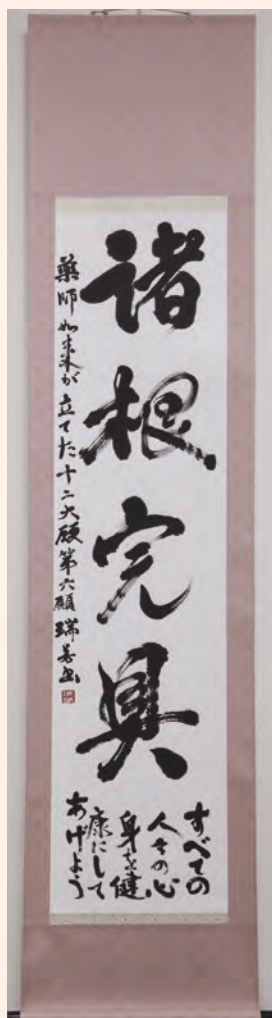


加納 真知子さん (横田)



「梅」

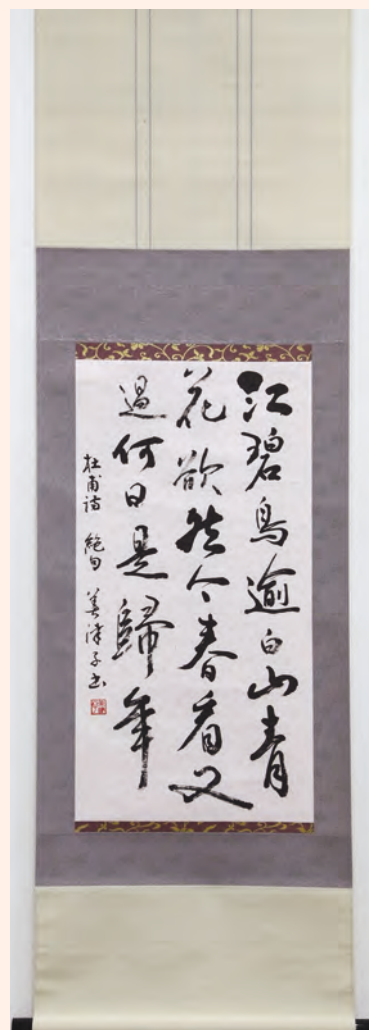
新納 耕一さん (戸出西)



松尾イツ子さん (守山)



山本 啓二さん (西条)



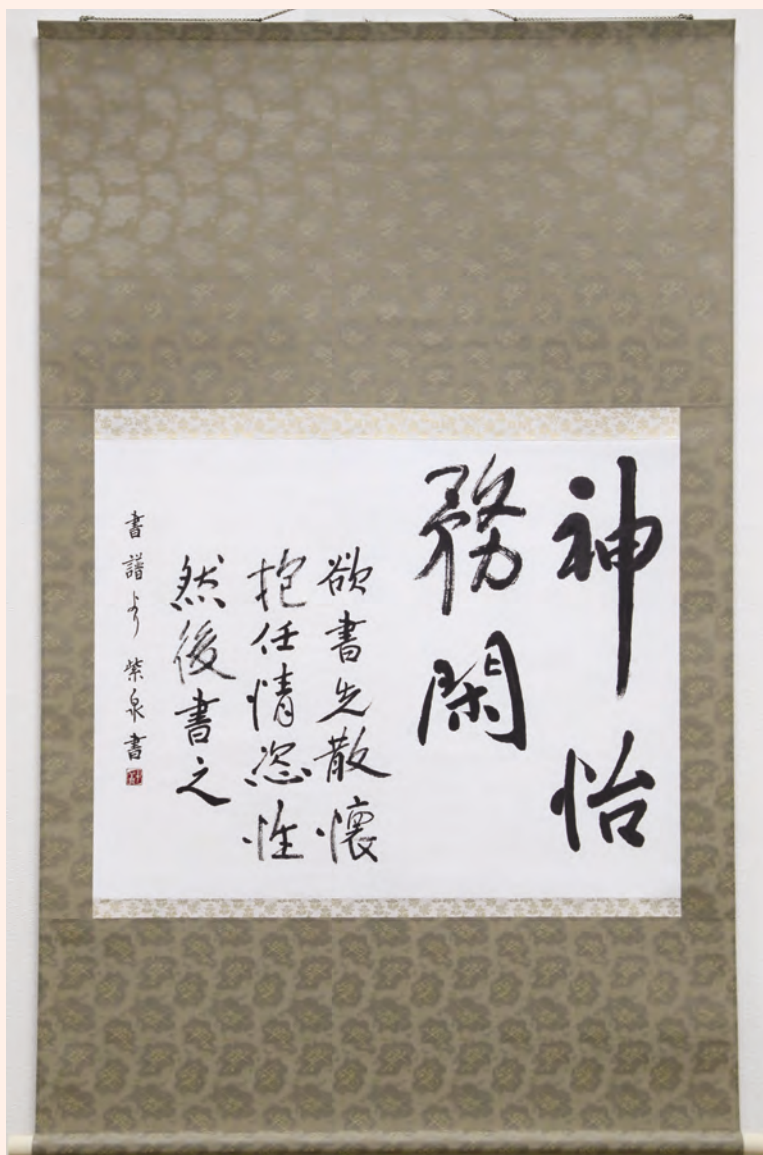
「江碧鳥逾白」

塩谷 美津子さん (牧野)



「静観」

姫野 美恵子さん (牧野)



長谷川 ますえ子さん (佐野)



「大志を抱く」
島 和美さん (伏木)



「燭光能奉納」
堀田 定廣さん (横田)

随想

風車(11)



なぜ「考える力」が大切か

大滝地区

荒屋敷老人クラブ

中谷 正昭

いては、教師をしている息子が、これまでの経験で学び、特に大切にしてきたことを『教師の心得』として語っているのので、参考までに一読願います。



【どの子にも目を配る】

【目的、内容、手段を考える】

兵庫教育大学院、数学教育コースで2年間研修する機会をいただいたときのことです。指導教官から、「数と数字の違いは何か」、「 $4/2$ は分数か整数か」と問いつけられたことがあります。的確に答えられない私に、教官は次の助言を下さいました。

「授業を計画する際、指導の目的、内容、手段の視点から教材研究することが大切。問い掛けに答えられないのは、目的と内容についての教材研究が不十分だから。手段に重きを置き過ぎていないか。」教官は、手段の例として、話し合い活動を挙げ、円滑に話し合いを進めるための工夫をしている実践、つまり手段である話し合いが目的になっている実践が多いと教えてくださいました。手段に重きを置くことが悪いとは思いません。大切なのは、目的、内容、手段をバランスよく扱うことです。

近年、子供一人一台、タブレットが配布されました。タブレットをどのように用いるかは手段です。タブレットを用いて何を指導す

るのか、その目的と内容について、じっくりと考えることが大切です。

【学び続ける】

教育センターの指導主事をしていたとき、初任者の熱い思いに刺激を受けることが度々ありました。そうした刺激は、私自身の初任の頃の思い、つまり、「初心忘るべからず」の「初心」を呼び起こさせてくれました。

ところで、「初心忘るべからず」に続きがあることをご存じですか。「時々初心忘るべからず」「老後の初心忘るべからず」と続きます。ここでの「初心」とは、何かを始めた頃の気持ちや志、すなわち「初志」ではなく、「未熟さ」という意味のようです。それまで経験していないことに対して、自分の「未熟さ」を受け入れ、その新しい事態に挑戦する心構えのことを示しているとのこと。

教師経験で考えると、初任のときに感じる「未熟さ」だけではなく、経験を積んでいく時々感じる「未熟さ」、老後、すなわちベテランになった時に感じる「未熟さ」を忘れず、学び続けなさいという教えといえます。

これまで筆者は、学級担任、学年担任、学年主任、教務主任……というように、立場や役割が変わり、そのたびに「未熟さ」を感じてきました。そうした「未熟さ」を忘れず、学び続ける教師でありたいと思っています。

(中谷 誠 名古屋市教育委員会 指導部主幹)

環境は脳を支配する。新型コロナ、東京2020オリンピック、パラリンピック、アファン問題と各地域のテロ。社会はどのように変化していくのかを「考える力」が必要である。第一は、経済はどうか。人口問題、日銀の異次元緩和政策と債務問題、グローバル・バリューチェーン、エネルギー戦略。第二は外交と安全で、北朝鮮、台湾有事とTPP加盟申請、インド太平洋とASEAN、アファンとタリバン。第三は、政治問題として中国と米国、特に習近平の動向とTPPへの参加や北京冬季五輪等。第四は、教育問題として、グローバルな人間社会を思想する、数学・哲学やAI、デジタル、量子力学の基礎教育をどうするか。子供や孫たちに「考える力」をバトンタッチする必要がある。また、歴史を知るうえで、万葉集の「許己呂」(ココロ)を忘れないで欲しい。ここで言う「考える力」につ

川柳

北老協 川柳会 国谷 洋子 選

碁敵に負けて悔やまぬ歳になり

西 廣志

ライバルに打たれだんだん強くなる

村上 芳雄

成功の陰に幾多の汗の跡

竹原 洋子

手の内で踊らされてるふりをする

古木 彰

過疎の村維持が限界高齢化

串橋 稔

限界と次を見つめる土俵際

堀 あつ子

一年の計白紙になった除夜の鐘

国谷 洋子

居酒屋は世間話の捨て処

針山 康雄

それぞれに手作りマスク布披露

村田 千恵子

ほろ酔いの次のステップ千鳥足

嶋村 千代松

一生を君と歩むとプロポーズ

すずき 善作

嬰兒に全部捧げる母の愛

西 英子

医師の声近くにいても聞こえない

一宮 郁代

エンディングノート空欄預金高

佐野 澄枝

紅さしていざ出陣のクラス会

村田 マリ子

身支度にマスク付け足す令和の世

西 廣志

杖、眼鏡、補聴器、薬、クラス会

村田 千恵子

ほろ酔いにさせたあんたの悪だくみ

古木 彰

ドラ息子親の歩みが荷の重さ

針山 康雄

産声が命の歓喜響かせる

国谷 洋子

世の歩みコロナが変えた分岐点

村田 マリ子

家持も眺めた月はこの道か

堀 あつ子

全否定されても僕は僕のまま

すずき 善作

理不尽な裁きに逃げず米騒動

竹原 洋子

葉も枝も栄えて空を奪い合い

嶋村 千代松

逃げたけど戻ってくれた青い鳥

村上 芳雄

寿命延び老後の設計立て直す

西 英子

コレクション自慢話が至福どき

串橋 稔

ほろ酔いが友の言葉でさめました

一宮 郁代

のほんと生きて不足が「二十万」

佐野 澄枝

負けん気の試行錯誤が辿り着く

六反 日出緒

長年の誤解を酒の席で解く

古川 政章

来年へ期待を継ぐ除夜の鐘

田村 武

北老協川柳会

平成二十八年六月、脳の活性化で「認知症」を防ぎ、生きがい・仲間・健康づくりを目的とする老人クラブの活動として取り組もうと発足しました。

「北老協」は、市老連の第三ブロックで、伏木・古府・太田の三地区で組織されており、北部地区老人クラブ協議会の略称です。

現在、川柳会の会員は十七名で、毎月第四日曜日の午後には句会を開いています。今年、七月に五周年を迎え、記念句集「萬葉」を発刊し、新たな思いで活動に励んでいます。

(お問い合わせ等は左記まで)

事務局 国谷 洋子

電話・〇七六六四四・四八一六



「高岡市老連だより」次回発行のお知らせ

今回は令和四年六月一日の発行を予定しています。
できるだけ多くの方の投稿をお待ちしております。

○各クラブの活動状況・随想・写真・絵画等

四百字詰め原稿用紙一〜二枚程度

○「短歌・俳句・川柳・漢詩等」の投稿

一人何首でも結構です。

○地区名・単位クラブ名・氏名を明記して下さい。

○投稿して頂いた方には薄謝を用意しています。

○締め切り 令和四年四月末 事務局必着

門松作り体験会のお知らせ

手作りの門松で新年を祝いませんか？



日時 12月27日(月)
午前9時から12時まで

場所 ふれあい福祉センター内
陶芸室

募集人数 10名



参加費 500円

申込〆切り12月20日(月)

申込 高岡市老人クラブ連合会
電話 23-7900 事務局まで

編集後記

猛威を振るったコロナウイルスは、県内でも一先ず沈静化しています。一日の感染者数が百五十人超の日もあったことを考えると、信じられない気がします。ともあれ、このまま収束しますように、第六波が来ませんようにと、祈るばかりです。

さて、「市老連だより」第31号は、『紙上作品展』をメインに編集してみました。思い起こせば、昨年度も今年度も趣味の作品展は中止でした。会員の皆様の芸術作品を鑑賞できないのは、寂しい限りです。その代わりに「市老連だより」の上で、楽しんでいただきたたく企画した次第です。写真では、原版の素晴らしさが伝わらない難しさがありますが、その一端にでも触れていただければ幸いです。

さて、明けて令和四年の干支は、壬寅（みずのえ・とら）です。この年は、「陽気を孕み厳冬を耐え、春の胎動を、本質的な実力を養いながら、何事にも好奇心を持ってポジティブに進めば、華々しい成果が期待できる、希望に溢れる年」ということだそうです。（五黄の寅説もありますが……）ここにあるように希望に溢れる年になることを祈っています。そのためにも、お互いコロナに十分気をつけましょう。マスク・手洗い・三密回避の励行で、明るい年を迎えましょう。それでは、皆様、良いお年を。

文化教養委員会 委員長 高桑 陸雄